CancerNet Japan

2026

Japan Cancer Forum

ジャパンキャンサーフォーラム

開催報告書

主催：認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン

共催：文京区

後援：厚生労働省／東京都



Japan Cancer Forum とは

キャンサーネットジャパン（CNJ）は、1991年の活動開始から2001年のNPO法人化を経て現在に至るまで、がん患者さんとそのご家族ががんと向き合い、自分らしい選択ができるよう、科学的根拠に基づくがん情報の提供に尽力してまいりました。

がん医療の目覚ましい進歩により、患者さんを取り巻く環境は大きく変化しました。しかし同時に、インターネットやSNSに流れる膨大な情報の中で、真に必要な情報へ辿り着く難しさも一層増しています。

だからこそ、正確な情報を「知り」、最新の医療や課題を「学び」、多様な立場の人々が「集う」ことで生み出される勇気や希望が求められています。本フォーラムは2014年以降、多くの皆さまとともに歩みを続けてまいりました。現在では、第4期がん対策推進基本計画の基本理念である「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」ことへの貢献を掲げ、さらなる発展を目指しております。

Thanks for Supporting JCF

Japan Cancer Forum の開催は無償でご登壇をいただいた講師・司会の皆様をはじめ、多くのボランティアスタッフの協力によって運営されており、今年は事前準備を含め 129 名のボランティアの皆様にご協力いただきました。ご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。



ボランティア参加者の声



自分も闘病中に支えてもらったように、
誰かの闘病の助けになれたと
実感できた。

意義のあるイベントを準備する
一員になれたこと、 同じ志を持つ方と
ご一緒できたことが何よりでした。

ボランティアとして参加する中で、
私自身も多くのことを学び、
あたたかい気持ちになれる貴重な経験でした。

ご協力くださった皆様

主催・運営：認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン
共催：文京区　　後援：厚生労働省、東京都
協力：株式会社資生堂、LAVENDER RING、株式会社 TOKIMEKU JAPAN

セッション共催
ライフネット生命保険株式会社
ノボキュア株式会社
一般社団法人日本がん免疫学会
東京科学大学病院 がん先端治療部
国立大学法人東京科学大学 次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン /
北海道公立大学法人札幌医科大学 地域に貢献する北海道がんプロ養成プラン
特定非営利活動法人肺がん患者の会ワンステップ
NPO 法人エンパワリング ブレストキャンサー /E-BeC
NPO 法人中皮腫サポートキャラバン隊

ブース出展協力
ネスレ日本株式会社
ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
一般社団法人 日本 MA-T 工業会
Boston Medical Sciences 株式会社
株式会社 MiaLuce
コンビタジャパン株式会社
筆文字作家 ことうた屋 だいぞう

寄付返礼品特別協賛
コンビタジャパン株式会社
筆文字作家 ことうた屋 だいぞう

撮影協力
Hamapro｜山本 華漸｜多田 知規｜林 祐介

バナー広告協賛
アッヴィ合同会社
ジェンマブ株式会社
バイエル薬品株式会社
ビーワン・メディシンズ合同会社
ファイザー株式会社

プログラム冊子広告協賛
コロプラスト株式会社
株式会社コルボ
メディカルマーケットビジョン株式会社

資料・サンプル配布
エグザクト サイエンス株式会社
金原出版株式会社

寄付協賛
第一三共株式会社
サノフィ株式会社
協和キリン株式会社
MSD 株式会社





開催概要

第 13 回ジャパンキャンサーフォーラム（JCF）は、「わたしらしく生きる〜がんとの共存を支える、確かな情報と選択肢〜」をテーマにオンデマンド配信も併用し開催いたしました。

今年度は文京区との共催のもと、会場を駅直結で利便性の高い文京シビックセンターへ移したことで、多様な立場の方々にご参加いただく機会になりました。各疾患やテーマで医療を牽引する講師からの最新情報の提供に加え、展示ブースや交流会は対面ならではの価値を再確認する場となりました。

- 会場開催日程：2026年8月8日（土）、9日（日）の2 日間
- オンデマンド配信：2026年8月4日（火）〜
- 開催会場：文京シビックセンター 地下2階〜3階
- プログラム数：55
- 無償でご登壇頂いた講師陣：70名（プロフィール掲載者）
- ボランティアスタッフ：129 名
- 参加者総数：2,360名
- ご寄付：参加申込時の寄付等　501,000円
  会場での寄付　635,570円

特別協力　LAVENDER RING TOKYO 2026　MAKEUP&PHOTOS WITH SMILES

今年のMAKEUP&PHOTOS WITH SMILES は2日間で24組のがんサバイバーが参加しました。資生堂のヘアメイクアップアーティストによるメイクレッスンやヘアスタイリングのあと、同社の広告を数多く手掛けるプロのフォトグラファーが撮影して、ご本人が大切にしているメッセージとともにその場でポスターに仕上げます。また、区民ひろばのステージでは、MAKEUP&PHOTOSに参加された3名のがんサバイバーが、将来の自分へ宛てた手紙を読み上げる《Dear Future Me》という企画も初めて開催しました。



収支報告

（単位：円）

収入の部

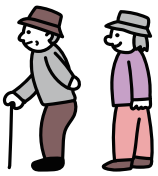
項　目	金　額	摘　要
参加費	0	
セッション共催費	1,925,000	企業2社、非営利6団体
バナー広告費	2,640,000	企業5社
ブース出展費	957,500	企業4社、患者団体34団体
プログラム冊子広告費	330,000	企業3社
資料・サンプル配布費	330,000	企業2社
協賛費	2,030,000	企業5社
寄付	1,171,360	
自己資金	3,616,785	
（収入　計）	13,000,645	

支出の部

項　目	金　額	摘　要
1. 事前準備関係費	8,800,890	
（内訳）事前準備関係費	4,800,000	
WEB サイト制作 / 更新費	2,000,000	
動画収録・編集費	360,000	
広告宣伝費	525,241	フライヤー・ポスター・当日プログラム等製作、プレスリリース・SNS 広告、コングレスバッグ等
印刷製本費	420,085	フライヤー・ポスター・プログラム冊子・資料・報告書等印刷
消耗品費	102,524	
通信・運搬費	553,654	アカウント契約、資材等発送、機材運搬
交通費	39,386	事前打ち合わせ・会場下見等
2. 当日運営関係費	2,652,757	
（内訳）運営費	500,000	
業務委託費	865,840	動画撮影、スチール撮影、機材一式等
会場設営費	584,350	会場備品等
会議費	430,936	登壇者 / 運営スタッフ　飲料水・弁当等
宿泊・交通費	227,751	スタッフ・遠方登壇者等交通費
保険料	43,880	
演者・司会・ゲスト謝礼	0	（無償協力）
3. 事後処理費	1,500,000	アンケート集計・報告冊子作成・アーカイブ動画公開等
4. 雑費	46,998	振込手数料・システム決済手数料等
（支出　計）	13,000,645	

2026 年 開催プログラム





8月8日 土

第 1 会場 -2F- 小ホール	第 2 会場 -B1F- 多目的室	第 3 会場 -B2F- 区民ひろば	第 4 会場 -3F- 障害者会館会議室 A	第 5 会場 -3F- 障害者会館会議室 B
11:00–12:00 **大腸がん** 金光 幸秀 国立がん研究センター中央病院 司会：中井 美穂 アナウンサー／キャンサーネットジャパン	11:30–12:15 **すい臓がん** 奥坂 拓志 国立がん研究センター中央病院 司会：福島 安紀 医療ライター	11:15–12:00 **医療アートメイク講演会** 講師：蟹江 麻希 運営：一般社団法人全日本がん脱毛医療アートメイク	11:00–12:00 **がん哲学外来 ミニメディカル・カフェ** 運営：がん哲学外来市民学会	11:00–12:00 **「希少がん」公開セカンドオピニオン** 後藤 悌 国立がん研究センター中央病院／キャンサーネットジャパン 司会：加藤 陽子 国立がん研究センター希少がんセンター 共催：国立がん研究センター 希少がんセンター
12:30–13:30 東京科学大学病院 がん先端治療部 共催 **がん治療：栄養と運動の役割** 浜本 康夫　森 ひろみ 東京科学大学病院 司会：川田 研郎　東京科学大学病院	12:30-13:15 日本がん免疫学会 共催 **がん免疫治療の最新研究紹介** 茶本 健司 京都大学大学院　吉村 清 昭和医科大学 司会：小島 あゆみ　ライター&エディター	12:15–12:45 **体験しよう！ がん経験者のためのヨガ** 講師：Ravi 運営：NPO 法人シーウィズ	12:30–13:30 **メラノーマ 患者・家族交流会** 運営：メラノーマ患者会 Over The Rainbow	12:30–13:30 **GCCA JAPAN 大腸がん患者交流会**
14:00–15:00 ライフネット生命保険株式会社 共催 **がんとお金の現実（リアル）** 黒田 尚子 一般社団法人患者家計サポート協会 池野 かおり　河村 有紀 ライフネット生命保険株式会社	13:30–14:15 **進行胃がん治療のいま** 大矢 周一郎 東京大学医学部附属病院 司会：小西 敏郎 東京医療保健大学 / キャンサーネットジャパン	13:15–14:00 **みんなで奏でる希望の音** 出演：谷山 健太郎／久田 邦博 ほか 運営：がんサポ喫茶止まり木	14:00–15:00 **肉腫（サルコーマ）の会 たんぽぽ交流会** 運営：肉腫（サルコーマ）の会 たんぽぽ	14:00–15:00 **「卵巣がん」公開セカンドオピニオン** 勝俣 範之 日本医科大学武蔵小杉病院 司会：増田 美加 女性医療ジャーナリスト
15:30–17:00 **がんサバイバーの声を聞こう！** 大月 佳津代　前島 美香 岡嶋 哲哉　山元 浩昭 加賀谷 辰夫　山本 真理子 加藤 瑞希　横山 真 永坂 かな 司会：大友 明子 CNJ 認定 乳がん体験者コーディネーター 司会：久田 邦博 しあわせです感謝グループ 代表／プレゼンテーションスキルコーチ	14:30–15:15 **かわりゆく食道がん治療** 加藤 健 国立がん研究センター中央病院 司会：濱中 博久 アナウンサー／ナレーター	14:15–14:45 **がんと運動** 講師：広瀬 眞奈美 運営：一般社団法人キャンサーフィットネス	15:30–16:30 **脳腫瘍患者・家族の交流会** 運営：NPO法人 脳腫瘍ネットワーク（JBTA）	15:30–16:30 **「子宮体がん」公開セカンドオピニオン** 勝俣 範之 日本医科大学武蔵小杉病院 司会：増田 美加 女性医療ジャーナリスト
	15:30–16:15 東京科学大学 次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン 札幌医科大学 地域に貢献する北海道がんプロ養成プラン 共催 **高齢者に対するがん医療** 高田 弘一　小野 聡子 札幌医科大学　札幌医科大学附属病院 司会：浜本 康夫　東京科学大学病院	15:15–16:00 **治験と患者・市民参画（PPI）** 講師：八木 伸高 運営：一般社団法人 YORIAILab		





※所属は開催当時のもの

オンデマンド配信 2026年8月4日(火)～	ノボキュア株式会社共催 **悪性脳腫瘍** 木下 雅史 金沢大学	NPO 法人中皮腫サポートキャラバン隊共催 **中皮腫** 齋藤 合 千葉大学医学部附属病院 司会：渡邊 益孝 NPO 法人中皮腫サポートキャラバン隊	NPO 法人エンパワリングブレストキャンサー /E-BeC 共催 **乳房再建の基本** 奥村 誠子 愛知県がんセンター 司会：真水 美佳 NPO 法人エンパワリングブレストキャンサー（E-BeC）	**子宮頸がんの治療の今** 寺尾 泰久 順天堂大学
皮膚がんの最新情報 2026 並川 健二郎 国立がん研究センター中央病院	**頭頸部がん** 篠﨑 剛 国立がん研究センター東病院	**甲状腺がんの薬物療法** 本間 義崇 国立がん研究センター中央病院	**腎がん治療の最新情報 2026** 近藤 恒徳 東京女子医科大学附属足立医療センター	**膀胱がん治療の最新情報 2026** 近藤 恒徳 東京女子医科大学附属足立医療センター





8月9日(日)

第1会場 -2F- 小ホール

11:00–12:30
乳がん治療 2026
上野 貴之（公益財団法人 がん研究会有明病院）
有賀 智之（東京科学大学）
司会：大友 明子
CNJ 認定 乳がん体験者コーディネーター

13:00–14:00
がん治療の副作用を知る・伝える・工夫する
石木 寛人（国立がん研究センター中央病院）
柳 朝子（国立がん研究センター中央病院）
司会：梅田 恵
株式会社緩和ケアパートナーズ・キャンサーネットジャパン

14:30-15:30
小児・AYA 晩期合併症 本音トーク
加藤 元博
東京大学医学部附属病院
加藤 瑞希
谷山 健太郎　宮城 順

15:30–16:00
レモネードスタンド助成成果発表
大嶋 宏一（埼玉県立小児医療センター）
池田 順治（横浜市立大学附属病院）
梅田 雄嗣（福井大学医学部附属病院）
司会：中井 美穂
アナウンサー／キャンサーネットジャパン

16:30–17:30
最期は家か病院か。〜いつかのために、今知っておきたいこと〜
佐々木 淳（医療法人社団 悠翔会）
山本 亮（JA 長野厚生連佐久総合病院 佐久医療センター）
司会：笠井 信輔
アナウンサー

閉会挨拶
後藤 悌
国立がん研究センター中央病院 キャンサーネットジャパン

第2会場 -B1F- 多目的室

11:00–11:45
肺がん治療の現在地
後藤 悌
国立がん研究センター中央病院 キャンサーネットジャパン
司会：長谷川 一男
NPO 法人肺がん患者の会ワンステップ

11:45–12:30
NPO 法人肺がん患者の会ワンステップ 共催
命が長くて副作用が強い薬と、命が短くて副作用が弱い薬、どっちを使う？
長谷川 一男（NPO 法人肺がん患者の会 ワンステップ）
後藤 悌（国立がん研究センター中央病院 キャンサーネットジャパン）

13:00–13:45
リンパ腫治療の最前線 2026
丸山 大
公益財団法人がん研究会有明病院
司会：笠井 信輔
アナウンサー

14:00–14:45
骨髄腫治療の最前線 2026
塚田 信弘
日本赤十字社医療センター
司会：松浦 典子
はまっこ（多発性骨髄腫患者・家族の交流会）

15:00–15:45
胆道がんの最新の治療戦略と低侵襲手術
脊山 泰治
がん・感染症センター 都立駒込病院
司会：福島 安紀
医療ライター

16:00–16:45
前立腺癌治療 Update
坂本 信一
千葉大学医学部附属病院
司会：山口 博弥
医療ジャーナリスト

第3会場 -B2F- 区民ひろば

12:00–12:30
深呼吸しよう！やさしい椅子ヨガ
講師：小山 紀枝
運営：一般社団法人 BCY Institute Japan

13:00–13:45
LAVENDER RING Dear Future Me~未来の私へ

14:00–14:45
がん治療に伴う外見ケア
池山 和幸
株式会社資生堂
山崎 多賀子
美容ジャーナリスト

14:45–15:45
がんサバイバーファッションショー
夏をまとうリゾートランウェイ

共催：ケアブランド KISSMYLIFE
トータルプロデュース 塩崎 良子（株式会社 TOKIMEKU JAPAN）
企画 / シナリオ / ヘアメイク ディレクション 山崎 多賀子（美容ジャーナリスト）
シナリオ / 司会　鈴木 美慧（聖路加国際病院）
ウォーキング指導 園田マイコ（モデル）



第4会場 -3F- 障害者会館会議室 A

11:00–12:00
がん患者の歯のケア交流会
運営：神奈川骨髄移植を考える会（BMT 神奈川）

12:30–13:30
欲しい前立腺がん情報を、求める人に！
運営：NPO 法人 腺友倶楽部

14:00–15:00
乳房再建体感会
運営：NPO 法人エンパワリング ブレストキャンサー /E-BeC

15:30–16:30
肺がんワンステップ交流会
運営：NPO 法人 肺がん患者の会ワンステップ

第5会場 -3F- 障害者会館会議室 B

11:00–12:00
悲しみを抱える家族・遺族の交流会
岩瀬 哲（埼玉医科大学病院 キャンサーネットジャパン）
梅田 恵（株式会社緩和ケアパートナーズ キャンサーネットジャパン）
司会：中井 美穂
アナウンサー／キャンサーネットジャパン

12:45–13:45
男性乳がん患者交流会 メンズ BC
下村 昭彦
国立国際医療センター
司会：大友 明子
CNJ 認定 乳がん体験者コーディネーター

14:15–15:15
リンパ腫交流会
丸山 大
公益財団法人がん研究会有明病院
司会：笠井 信輔
アナウンサー

15:45–16:45
骨髄腫交流会
塚田 信弘
日本赤十字社医療センター
運営協力：はまっこ（多発性骨髄腫患者・家族の交流会）

アーカイブ動画公開について

JCFでは、大切ながん医療情報を多くの方に届けるために特設サイトにてアーカイブ動画を無料で公開しています。 ※一部を除く

https://www.japancancerforum.jp/programs

会場レポート



第１会場

第１会場は、最大 341 席のメイン会場で、罹患数が多い「大腸がん」「乳がん」の標準治療や最新情報に関する講演に加え、がん種に関わらない共通のテーマについても多く取り上げました。

東京科学大学病院がん先端治療部共催「がん治療：栄養と運動の役割」では、浜本康夫先生と森ひろみ先生によるがん治療における運動と食事の役割に関する講演 、ライフネット生命保険株式会社共催「がんとお金の現実（リアル）」では、多くのがん患者さん、ご家族の関心の高い高額療養費制度改定など、がん治療とお金について、一般社団法人患者家計サポート協会顧問の黒田尚子さんによる講演、またがんとお金に関する調査結果を元にしたディスカッションが行われました。

１日目の最後には「がんサバイバーの声を聞こう!」のセッションが開かれ、今年は９名のがん経験者が限られた講演時間の中で自身の経験から見えるがん治療や共生に関する課題を示し、解決に向けた活動を紹介しました。

２日目の「がん治療の副作用を知る・伝える・工夫する」では、国立がん研究センター中央病院の石木寛人先生と同院看護師の柳朝子さんより、副作用の基本的な知識から、困りごとを医療者にどのように伝えるか、また自分で行うことができる工夫について話しました。

「小児・AYA 晩期合併症本音トーク」のセッションでは、成人患者にも共通する晩期合併症の詳細や小児・AYA 世代特有の課題を丁寧に解説し、後半は、小児・AYA 世代のがん経験者を交え、直面した困難やそれを乗り越えてきたプロセスについて本音で語っていただきました。

続いて、レモネードスタンド開催により CNJ に集められた寄付をもとに「小児がん・AYA 世代のためのレモネードスタンド助成」を受けた3団体が、そのプロジェクトの進捗・結果報告を行いました。

最後を締めくくる「最期は家か病院か」のセッションでは、がんと向き合う中で避けては通れないテーマを取り上げ、医療者からの講演およびディスカッションを行いました。正解がある問題ではなく、患者さん、ご家族、それぞれの状況や希望のなかで、選択できるものをどう選んでいくのかを考えるセッションとなりました。















感想

自分の終末期は　家か施設か
どっちだろうかと、
いろいろと考えさせられました。

がんの治療だけでなく、その後遺症も日常生活に
大きな影響を受けること、そしてそれに対する
支援が足りないことを知りました。

晩期合併症という言葉を知りませんでしたが、ご体験を話して頂き、
社会に晩期合併症が周知され、適切な支援が受けられるように
なるべきだと問題意識を持てました。

なかなか聞けない話、高額療養費の
最新情報など非常に良かった。



第 2 会場

第 2 会場では、すい臓がん、胃がん、食道がん、肺がん、リンパ腫、骨髄腫、胆道がん、前立腺がんの疾患における最新の治療情報や今後の展望についての講演が行われました。

日本がん免疫学会共催「がん免疫治療の最新研究紹介」のセッションでは「免疫細胞のミトコンドリア代謝向上によるがん免疫治療の増強効果」と題した、がん免疫治療の効果を最大限に引き出すための最新研究の紹介と「がん免疫療法の実際」の講演ではがん免疫療法の種類や免疫チェックポイント阻害剤の現況、そして腸内細菌、運動など、がん免疫療法の効果を左右する新たな因子についてのお話もありました。

NPO 法人肺がん患者の会ワンステップ共催の「命が長くて副作用が強い薬と、命が短くて副作用が弱い薬、どっちを使う?」のセッションでは、がんを抑えることと QOL とのバランスをどう考えるかという、患者さん、ご家族にとって関心の高いテーマが取り上げられ、160 名定員の会場が満席となりました。

また、東京科学大学 次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン / 札幌医科大学 地域に貢献する北海道がんプロ養成プラン共催「高齢者に対するがん医療」のセッションでは、「どういう病院にかかるのがよいか」という質問に「高齢者の方は併存疾患があることが多いため、がんの専門家も他の疾患の専門家もいる、お住まいに近い総合病院がよい」と回答されていました。















感想

日々新薬の開発が進んでいる実情がわかり、
今後の治療に希望が持てた。

医師との協働意志決定の大切さ、
後悔しない治療の選び方、
我慢しない事、
治療効果の進歩により
余命が延びていること等
とても勉強になりました。

今まで、医者の言われた通りにしていましたが、
再発をしているので、疑問に思ったら
セカンドオピニオンや治験などがあると
患者も勉強する事も必要だと勉強になりました。

改めて自分の病気に関して知ることができた。
自分でどうしたいのか、ちゃんと向き合い考えを
伝えて治療をしていきたいと思えた。

第 3 会場



第 3 会場となった区民ひろばでは、患者支援団体や企業によるブース展示のほか、ステージを設置。がん患者さん向けのヨガや運動のプログラム、医療アートメイクやがん患者さんの外見ケア、治験と患者・市民参画(PPI)に関する講演、参加型ライブイベント、がんサバイバーによるファッションショーなど、多彩なプログラムが繰り広げられました。

ライブイベント「みんなで奏でる希望の音」では、小児がんサバイバーでシンガーソングライターの谷山健太郎さんが、がんサバイバーや支援者から寄せられた「心に響いた言葉」や「届けたい想い」を歌詞にした JCF 応援歌「雨音リズム」を初披露しました。スクリーンに歌詞が映し出されると観客も一緒に大合唱。大いに盛り上がりました。



また、JCF 初の試みとして、株式会社 TOKIMEKU JAPAN の協力のもと、がんサバイバーによるファッションショーを開催しました。テーマは「私のランウェイを、私らしく歩く。夏をまとうリゾートランウェイ」。15 名のがんサバイバーが華やかなリゾートウェアを身にまとい、医療者のエスコートでランウェイを歩く姿に、会場は大きな拍手に包まれました。参加したモデルさんからは、「本当に、貴重な楽しい時間をありがとうございました。がんになったから、できた素敵な経験。私もこんなふうに、治療をがんばってる人達の力になりたいと思いました」という感想が、また来場者からも「みなさんキラキラしていて、こちらも明るい気持ちになりました」「モデルさんが階段を降りる際に、先生方がそっとエスコートしている姿も感動的でした。ほんと涙が出そうでした」などの感想が寄せられました。

区民ひろばは地下鉄の駅直結で、参加者以外の往来も多く、また3階まで吹き抜けのため、上のフロアからも多くの方にご覧いただきました。





感想

とてもエネルギッシュな企画で、
ステージと観客が一体になって楽しかったです。

治療をしながらも、
自分らしさを
忘れずに生活することの
大切さを知った。

ヨガ体験では、その場でできる簡単な動きを
教えてもらえて一緒にできたので、
楽しかったし、気持ちが良かったです。

患者としての経験を医療に活かす道があるとわかった。

第 4.5 会場

第 4 および第 5 会場は、参加者同士の交流や直接的な対話を重視した、小規模プログラムを中心とする会場として運用しました。

第 4 会場では、ブース出展を行っている患者会が主導となり、疾患別の交流会や医療者が同席して質問を受け付けるセッションを開催しました。さらに「がん患者の歯のケア」をはじめとする特定のテーマに絞ったセッションも行われ、立場や疾患を超えた情報共有の場となりました。会場内では、グループに分かれて一人ひとりの声にじっくりと耳を傾ける光景が見られたほか、乳房再建を経験された方が自身の経験とともに語りかける「体感会」など、小規模開催だからこそ実現できる温かみのあるプログラムが展開されました。その一方で、密度の高い対話を重視したことで定員数が限られ、満席となるセッションが相次ぐなど、非常に高い関心と熱気に包まれた会場となりました。

第 5 会場では、CNJ 主催の交流会や「公開セカンドオピニオン」を開催しました。多くの専門医が参加したことで、疑問や不安を直接質問できる機会として参加者の満足度は非常に高く、他の参加者の質問や回答を共有することで新たな学びの場にもなりました。また、参加した医師からも「患者さんの生の声や実情に触れ、自身にとっても大きな学びになった」という声が多く寄せられました。さらに、新たな試みとして「悲しみを抱える家族・遺族の交流会」を開催し、安心して感情を分かち合える温かい時間を共有しました。

両会場とも一方的な情報発信にとどまらず、患者・家族・医療者が同じ目線で語り合い、互いの悩みや知識を共有し合えるという、対面開催ならではの価値を実感できる場となりました。





感想

先生から直接色々なお話を
聞くことが出来ました。
また同病の仲間たちに会え
元気を貰いました。

多くの同じ病気の方のお話をきいて元気をもらって
帰ることができました。
数年前から参加をためらっていたことを
後悔しましたが、また機会があれば参加したいです。

それぞれ状況は異なりますが、
悲しみを抱えているのは
自分だけではないのだと思える時間でした。

同じ大変さを共有する方々と出会えて、とても嬉しかった

先生は参加者全員に対して、丁寧に回答してくださった。
個人の意見や気持ちではなく、多くの経験と知識から、
エビデンスのある説明で納得できた。
更に患者が生きていくことに寄り添う姿勢が素晴らしいと思った。

直接医師に質問出来る場で、
他の患者さんの状況を聞き
それに対する医師からの回答が
参考になった。

ブース展示



オンライン出展を含めた全 74 団体のうち、2 日間で 47 団体が会場でのブース展示を行いました。今年は出展エリアが 3 か所に分かれており、2 階小ホールロビーでは主に企業ブース、1 階と地下 2 階では主に患者会や患者支援団体の展示が行われました。

ご好評いただいている「スタンプラリー」を今年も実施しました。複数会場への移動を懸念する声もありましたが、多くの来場者が様々なブースを巡り、活発な交流が生まれました。スタンプ集めをきっかけに、新たな団体との出会い、これまでインターネット上でしか接点のなかった団体と直接対話することで、正しい情報の取得や仲間づくりにつながる有意義な時間となりました。

会場には、がん患者さんやご家族を支援する多種多様なブースが出展しました。ヨガや運動をはじめ、アピアランス（外見変化）ケアやネイル、写真撮影、個別相談など、それぞれの専門性を生かした体験や相談の場が提供されました。

企業ブースでも、趣向を凝らした企画が実施されました。毎年恒例となっている小児がん支援のためのチャリティ活動「レモネードスタンド」をはじめ、栄養補助食品の試食、マウスウォッシュやスキンケア製品の試供品提供などが行われました。特にレモネードスタンドでは、多くの来場者がマヌカハニー入りの優しいレモネードで喉を潤しながら、温かい寄付を寄せてくださいました。

また、スタンプラリーの景品に毎年ご協力いただいている筆文字作家ことうた屋だいぞうさんのブースは、例年通りの大盛況となりました。

ブース出展は、患者さんやご家族が正しい情報や仲間と出会い、不安を和らげる大切な機会です。同時に、出展者にとっても当事者の生の声を聴くことができる貴重な機会であり、双方を温かくつなぐ重要な役割を果たしていることを再確認する取り組みとなりました。













感想

アートメイクは眉毛が
全くなくなると、
描くのがとても大変だと
よく聞くので
とても興味深かったです。

進行膵がんの兄へネスレのたんぱく質がとれる
栄養補助食品の知識を得られた。

団体名だけではわからない内容を知ることができた。

病気や日常生活に役立つ情報や製品、
各団体の社会貢献活動を知ることができ、
疲れていた気持ちが明るく切り替わりました。

実費だけで行きたいところに連れてってもらえる
サービスはなかなかないので、知れてよかった。

スタンプラリー・寄付抽選会

申込時を含め 3,000 円以上の寄付をして下さった方、展示ブースを回るスタンプラリーで全てのシールを集めた方の抽選会を行いました。協賛企業からの提供品により、参加者全員に素敵な景品が当たり、抽選会場は笑顔に包まれました。

スタンプラリー参加者感想

スタンプを集めるためにブースを回りましたが、
そのおかげで立ち寄ったブースが
楽しくて一石二鳥でした。

何もなければブースでお話を聞きにくいのですが、スタンプラリーがきっかけで
色んなお話が聞けてとてもいい企画だと思います。



ブース出展者感想



来場者の悩みに少しでも役に立つ
情報やサービスを提供できた。

想定以上に多くの方にお立ちよりいただき、
がん患者様やご家族の食事と栄養に関するリアルな
お悩みを伺えたり、製品を「おいしい！」と
飲んで知っていただく機会になった。

対面で直接説明が出来、
受け取った方の感想が聞けたことが良かった。
駅近で、がんに関係なくフラッと立ち寄った方にも知ってもらえた。

全国からサバイバーの方や出展者が集まり、情報交換ができた。

ブース出展一覧（オンライン含む）

当日ブース展示

Boston Medical Sciences 株式会社/株式会社MiaLuce
コンビタジャパン株式会社
ネスレ日本株式会社
ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
一般社団法人日本MA-T工業会
一般社団法人日本承継寄付協会/公益財団法人Will for Japan
資生堂ジャパン株式会社
筆文字作家 ことうた屋 だいぞう

CNJ×養成講座 紹介デスク～乳がん・がんナビゲーター～
NPO法人乳がん予防医学推進協会
NPO法人脳腫瘍ネットワーク（JBTA）
NPO法人GISTERS
NPO法人インターナショナルネイルアソシエーション
NPO法人エンパワリング ブレストキャンサー/E-BeC
NPO法人シーウィズ
ＮPO法人腺友倶楽部
がんサポ喫茶止まり木
がんフォト＊がんストーリー
がん哲学外来市民学会
キャンサードライブ
すい臓がん患者と家族のおしゃべりサロンぶどうの木
チーム防がんＭＡＰ広めたい
文京区
みんなでつなげる乳がん患者会ASHARE
メラノーマ患者会 Over The Rainbow
一般社団法人 食道がんサバイバーズシェアリングス
一般社団法人BCY Institute Japan
一般社団法人YORIAILab
一般社団法人アピアランス・サポート東京
一般社団法人キャンサーフィットネス
一般社団法人できること
一般社団法人ピアリング
一般社団法人患者家計サポート協会
一般社団法人全日本がん脱毛医療アートメイク
公益財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン
港区立がん在宅緩和ケア支援センター ういケアみなと
国立がん研究センター 希少がんセンター
骨髄バンクを支援する東京の会
埼玉骨髄バンク推進連絡会
神奈川骨髄移植を考える会
男性がん患者会 Face（フェイス）
特定非営利活動法人肺がん患者の会ワンステップ
特定非営利活動法人ジャパンハート
特定非営利活動法人患者スピーカーバンク
肉腫（サルコーマ）の会 たんぽぽ
認定NPO法人マギーズ東京

オンラインブース出展のみ

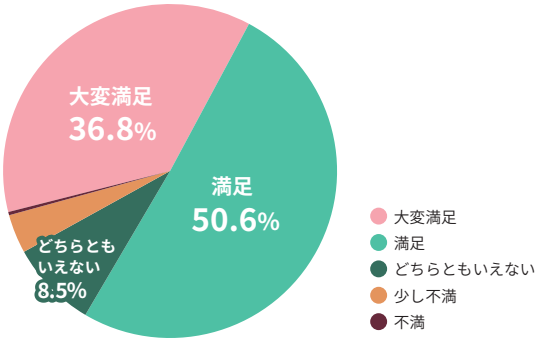
CancerTears
NPO法人おおさかレモネードスタンドプロジェクトPilina
NPO法人血液患者コミュニティももの木
がんを経験した女性のコミュニティ Colorful Ribbons
がん哲学外来カフェ柿田川
ダカラコソクリエイト ／ カラクリLab.
はまっこ（多発性骨髄腫患者・家族の交流会）
一般社団法人CSRプロジェクト
一般社団法人キャンサーペアレンツ
京都乳がんピアサポートサロン～fellows～
胸腺腫・胸腺がん患者会 ふたつば
血液がんについて話しましょう!
血液がん患者・家族の会～MUSUBI（むすび）～
公益財団法人日本骨髄バンク
公益社団法人日本オストミー協会大阪府支部
骨髄腫患者と家族の会福岡オリゾン
若年性がん患者団体 STAND UP!!
若年性乳がんサポートコミュニティPink Ring
腎がん患者と家族の会 そらまめの会
前立腺がん患者会PSA北海道
頭頸部がん患者と家族の会 Nicotto
特定非営利活動法人 tomoniなごや
特定非営利活動法人京都ワーキング・サバイバー
膀胱がん患者会
膵がん患者夫婦の会
膵臓がん患者と家族の集い

Survey Result

参加者341名（会場参加者318名、オンデマンド配信視聴者23名）から
アンケートへの回答をいただきました。

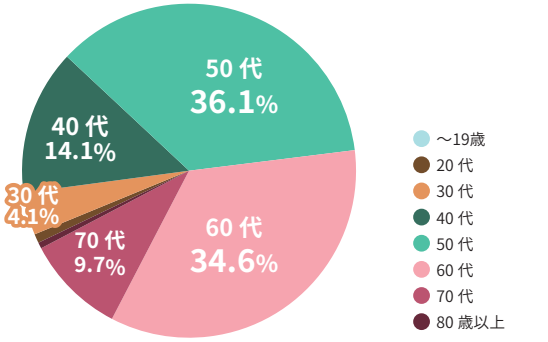
参加していかがでしたか

（n=318）



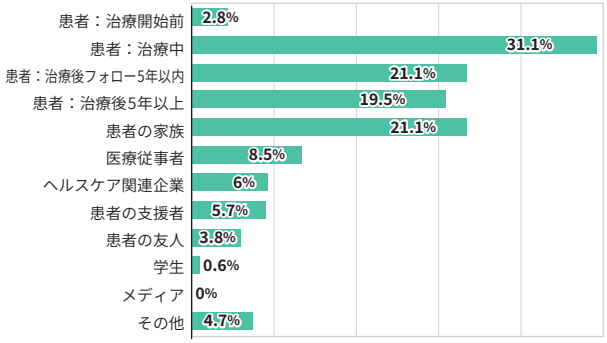
年代を教えてください

（n=341）



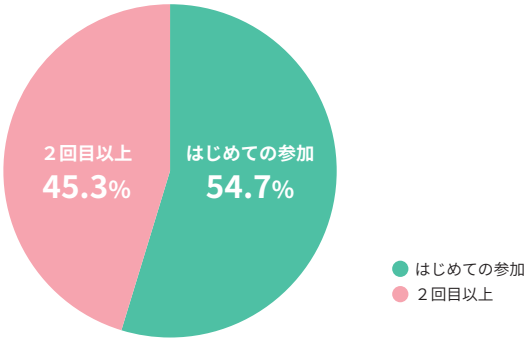
あなたのお立場を教えてください（複数回答可）

（n=318）



Japan Caner Forum への参加は何回目ですか

（n=318）



オンデマンド配信視聴者の声

本で読んだ知識とは違い、まさに 2026 年の最新の情報を得ることができて、
また未来の展望も教えて貰えて再建の時期を考慮する上でも大変役にたちました。見てよかったです!

行く予定でしたが連日の暑さにより
仕事での疲労 (外仕事) と当日の外気温により
体力がキツそうなので断念しましたので
アーカイブはとても助かります。

脳腫瘍のお話が非常に分かりやすく面白かったです。
とても勉強になりました。ありがとうございました。

JCF 2027 Japan Cancer Forum

2027年 7月 31日（土）・ 8月 1日（日）

https://www.japancancerforum.jp/

※詳細は、順次掲載予定です。

2027 年の JCF 開催趣意書をご希望の方は、お気軽にお問合せください。https://www.cancernet.jp/mail

2027年 開催決定!!